

相談支援つうしん

<第 82 号>2022 年 7 月 15 日
県立湘南養護学校 支援連携部
相談支援係 ~教師編~

暑さと湿気で体力を奪われてしまいそうな気候ですが、もう少しで夏休みですね！
学校の先生向け通信、今年度 2 号目です。よろしくお願いします。

~~「どうして、できないの？」~~



今回は、私（櫻木）の話を書かせていただきます。私は、前任校で野球部を担当していました。ずっと吹奏楽部で音楽ばかりやっていたので、スポーツは苦手でした。運動といっても体育の授業ぐらいでしかやったことがなかったので、そもそもの体の動かし方がよく分かっていませんでした。それにプラスして…私は左利きなので学校で教えてもらう様々な動作のお手本は、基本右利きを想定して指示されることが多かったのだと思います。見本の真似をすると右利きの人の動作になってしまうんですね。利き手ではないので上手くいかないことが多かったです。小学生の頃は先生のお手本が正解だと思っていたので、左右逆転して持ち変えてみる！なんて発想力もなく…左利きなのに右手で行っている動作がとても多かったと思います。実際、今でも何かをするときに右を使ったり、左を使ったりしていることが多いです。

話は戻りますが…部活動中、顧問の先生に子どもとキャッチボールをしてくださいとお願いされたことがあります。（自分も顧問でありながら、）苦手意識が強すぎて正直困りました。というか、ボールの投げ方と取り方が全く分かっていませんでした。「なんでできないの？」と顧問の先生にはよく言われていました。なんでできないのと言われても、よく分かりませんでした。とりあえず、グローブを手に取りましたが右利き用のグローブを付けていました。それが、当たり前前の感覚だったのだと思います。グローブを持ち変えたところで、学生時代はずっと右利きの人の動きをしていたので左の動作はどうすればいいのだろう？と思ったり、しっくりこなかったりする感覚もありました。



ここで、私が児童生徒だとして、先生方はどのような目標設定や指導を行いますか？

私は、ボールを遠くに飛ばせません。飛んできたボールをキャッチするのも難しいです。遠くに投げたり、キャッチしたりしないといけないことは分かっていますが上手くできません。ボールを転がし、そのボールを取ることはできます。下投げのボールなら何とか取ること、投げることができます。苦手意識はありますが、怠けているわけでは決してありません。

きっとこの話を見て、運動ができる先生は「どんだけ運動できないの～？」と引いているかもしれません（笑）
考えられることとして…

- ①キャッチボールをするという目標の設定が高い。
- ②体の動かし方、道具の使い方が分かっていない。
- ③失敗したら嫌だな、どうせできないなど、そもそも気持ちがのらない。

他にも理由は考えられるかもしれません。

先生方にも、得意不得意があるように、当たり前ですが子どもたちにも共通する部分はあるかと思います。いろいろな「できない」がある中で、要因を分析し、どうしたら「できるかな？」、「どうしたらよかったかな？」を見つけてほしいなと思います。そして、本人が得意とする受け取り方（視覚的、聴覚的支援など）で提示する。目標の動きが難しい場合は大体の動きや方法でできるように指導支援する。先生方が日々の関わりの中で意識されている部分ですよね。

どれだけ練習をしても、積み重ねて練習してみても「できる」とこまでいくのが難しいこともあるかもしれません。もしかしたら、目標設定が高いことがうまくいかない要因だということもあるかもしれません。児童生徒の実態把握に役立つアセスメント、教員間での支援方法、配慮の見通しを持ったり共通理解を図ったりするためのツールもあります。各学部の相談支援係や相談担当までお問い合わせください。

☆前のページの続き☆

教育活動の中で、「このくらいできて当たり前!なのになかなかうまくいかない。」「チームの先生と児童生徒の見立てや支援を考えてみたい!」と思っている先生方にオススメです。アセスメントシートで実態把握をし、支援や配慮を具体的に検討できます。

以前担当していたお子さんでこのツールを活用したとき、設定した目標と自分が想定した対象生徒の実態がかけ離れすぎていたことに驚いたこともあります。興味のある先生はぜひ、お声がけください。

支援グッズ紹介

今回は、感覚入力グッズの紹介をしたいと思います。感覚入力グッズは、ドキドキしたり、興奮したりしてしまいそうなときに自分自身の安心グッズとして。ここは頑張るぞという時、集中力を持続するためのグッズとして活用できます。必要なお子さんに、お気に入りのグッズが見つかると思います。



プッシュポップバブル

プチプチすると集中できる、落ち着ける、待ってられるお子さんが多いみたいです。

バランスクッション

空気を入れてふわふわした感覚が好きなお子さん
もいれば、空気を抜いた状態が好きなお子さんも
いるみたいです。椅子の上に置けるので、感覚を入れ
ながら集中時間を持続させられるかもしれません!



今日は2つ紹介させていただきました。その他、いろいろな感覚グッズがあります。また、こういう感覚が好きなんだけど良いグッズない?と相談していただけることも増えました!どのグッズがお子さんにヒットするか試行錯誤は必要になるかと思いますが、こちらもお気軽にご相談ください☆

相談カード (教員用) 記入日 令和 年 月 日

対象児童生徒 小・中・高 年 氏名 (イニシャル)

1. どのようなご相談ですか? (○をつけてください)

- ①行動面について ②学習面について ③コミュニケーションについて ④運動面について
⑤家庭に関すること ⑥ その他 ()

2. 困っていることは何ですか?

3. 今後どのような方法をご希望ですか? ①情報提供 ②アドバイス ③ケース会 ④外部専門職との連携
⑤道具の工夫環境調整 ⑥その他 () 担任→相談支援係へ提出をお願いします。